

課題名：野菜生産の拡大と経営基盤の強化

【評価できる点】

- ・雪害で足踏みをしていた選果場の建設計画ですが、産地ビジョンが作成できたことで、将来像が見えていた点が生産者をまとめる大きな要因であったと思う。
- ・課題の設定がわかりやすい。
- ・選果場の建設と平行してエコファーマーの取得支援や新規栽培者の育成を行い、栽培技術の面では I P Mの普及や巡回指導会、手引きの作成など産地ビジョン達成にむけて細やかな取り組みが行われた点がすばらしい。
- ・今後の対応がわかりやすい。
- ・選果場の設立から軌道に乗るまで、ご苦労が多かったことと思います。このように結果に結びついたのは産地ビジョンがしっかりしていた事と合わせて、技術指導と普及の I P Mの導入研究がされたすばらしい成果であると思う。
ご指導いただいている立場として、お礼申し上げます。
- ・県内でも有数の野菜生産地として発展の強みが見られる。
- ・全体的に何が課題で、どう対応すべきか整理されており、取り組みがわかりやすい。
- ・課題の分析・ニーズの把握が適切である。
- ・雪害からのハウス再建という大きな課題に取り組み、希望者全てのハウス再建を支援したことは担当職員の熱意が感じられ、高く評価できる。
- ・選果場建設にあわせ、なす・きゅうりの生産規模拡大推進に取り組み、担い手育成、生産性・生産量向上、エコファーマー取得支援で大きな成果をあげたことは高く評価できる。

【改善・強化に向けた検討事項（主な意見と対応策）】

1 課題や目標設定に関すること

- ・選果場も出来て順調に事業が行われていると思う。ただし今後の課題で、到達目標に取組実績が達していないにもかかわらず、目標達成に向けての具体的な対応策がない。目標設定の根拠と、未達成の検証を今後は行うべきだと思う。

2 活動内容に関すること

- ・地域で一番多い物を、群馬で1位に、そして関東で1位になる。大産地になるように、日本一を目指した改革を進めてほしい。
- ・目標項目と活動実績において、「I P M利用面積」の項目が大幅に目標未達であったのは残念である。今後、全国や県内の定着率をもとに適正な目標値を設定し、目標達成に向けた活動を展開していただきたい。